

第1回経営発達支援計画事業評価委員会 会議録

- 1 招集通知 令和 4年 2月 7日 (月)
- 2 開催日時 令和 4年 2月24日 (木) 13:30~14:15
- 3 開催場所 瀬戸内市商工会 本部2階会議室
- 4 出席者 7名 委員長 福池 幹夫 (商工会副会長)
副委員長 福崎 勇 (商工会副会長)
委員 山口 卓男 (地域振興事業委員会委員長)
神坂 俊規 (地域振興事業委員会副委員長)
山本 信幸 (青年部長)
岡部 峯子 (女性部長)
服部 博昭 (瀬戸内市産業振興課課長)
欠 席 石田 茂樹 (経営支援事業委員会委員長)
藤井 雅司 (経営支援事業委員会副委員長)
- 5 議長 福池 幹夫
- 6 協議事項
 - (1) 令和3年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について
 - (2) 令和4年度「経営発達支援計画」に基づく事業の取組みについて
 - (3) その他

7 議事の経過と結果

(開 会)

午後1時30分、事務局(石井事務局長)が事業評価委員会を開催する旨を宣した。続いて、本会役員の改選に伴い本委員会の委員も新たに委嘱され、委員長及び副委員長を選出する必要がある、「経営発達支援計画事業評価委員会規程」第5条2により委員の互選によることとなっている旨説明した。

山口委員から、「引き続き、委員長に福池副会長、副委員長に福崎副会長の再任をお願いしてはどうでしょうか。」と発言があった。

司会は、山口委員の発言について諮ったところ、全員賛成で承認された。

役 職	氏 名
委員長	福池幹夫（副会長）
副委員長	福崎勇（副会長）

福池委員長は委員長就任のあいさつを行い、同規程第7条にもとづき、議長に就任した。

<あいさつ要旨>

- ・新型コロナウイルスの影響が長引く中、体力の乏しい小規模事業者においては非常に厳しい状況となっており、各種補助金の申請支援等、商工会に求められる役割も重要性を増している。
- ・商工会の支援の柱として取り組んできた経営発達支援計画も、平成27年から始まり、令和2年に第2期を「瀬戸内市」と連名申請し、その2年目となった。
- ・新型コロナの影響による活動の制約もあるが、工夫を凝らすことで、目標達成に向け事業を推進し、小規模事業者の支援につなげていきたい。

(協議事項)

福池議長は「(1) 令和3年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について①経営発達支援事業について」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局(松本課長)は資料1及び「経営指導員による伴走支援事業」により説明、続けて事務局(大治指導員)は資料1-①及び資料1-②により説明した。

福池議長はこのことについて意見を求めたところ次のような発言があった。

<発言要旨>

福崎副委員長：瀬戸内市の人口の推移はどうなっているのか。

服部委員：微減傾向となっている。約3万6千人程度である。

福崎副委員長：行政の立場からみて取り組みはどうか。

服部委員：経営発達支援計画の趣旨に則った取り組みであるとともに、新型コロナウイルス対策として商工会がしっかりと伴走支援に取り組んでいる。

福崎副委員長：青年部としてはどうですか。

山本委員：青年部員に対しても各種施策の周知は不十分であり、一層の普及に努めたい。

福池議長は「（１）令和４年度「経営発達支援計画」に基づく事業の実施状況について」を上程し、事務局に説明を求めた。

事務局（松本課長、石原課長）は資料２により説明した。

福池議長はこのことについて意見を求めたところ次のような発言があった。

<発言要旨>

服部委員：経営発達支援事業においても、創業塾をはじめ、瀬戸内市と商工会が連携し、共同で実施しているものも多くある。しっかりと、商工会と情報共有をしながら検討し、効果的に事業を推進したい

福池議長はその他に何か協議事項はないか諮ったところ何もなかった。

本日の協議の結果を理事会へ提案していくと述べ、議長の座を降壇した。

（閉 会）

福崎副委員長は、閉会のあいさつを述べ終了した。時に、午後２時１５分であった。